

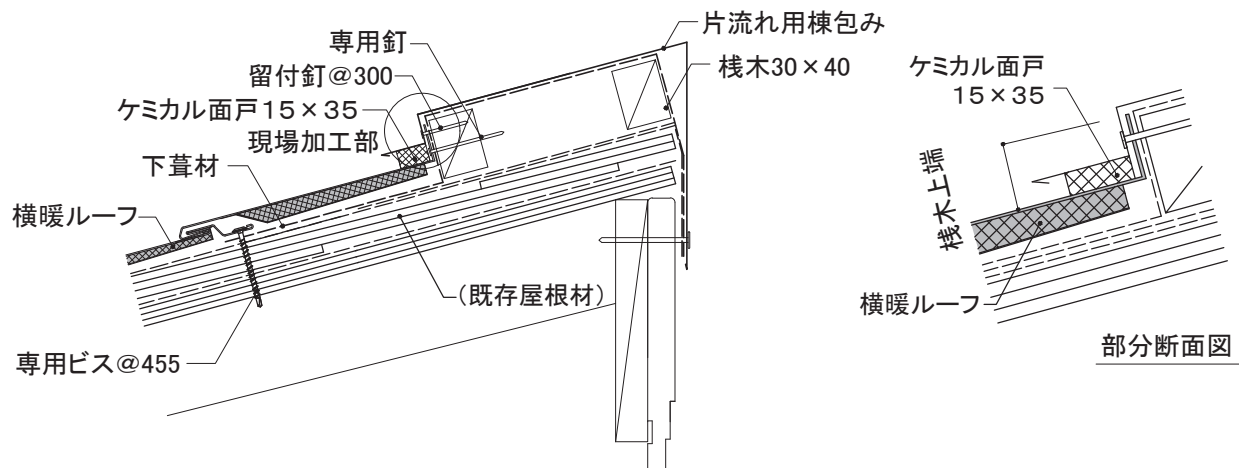
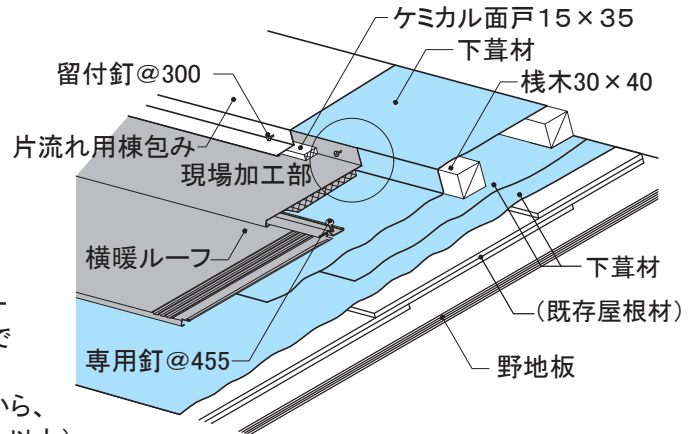
横暖ルーフ

工法	既存屋根材
重ね葺き	セメント系新生瓦 アスファルトシングル

10) 片棟部

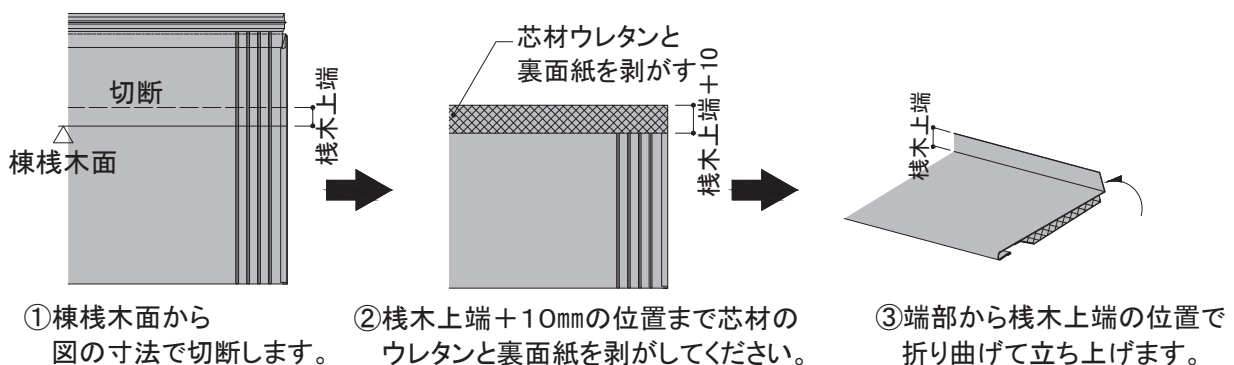
片流れ用棟包み

- 既存屋根材に下葦材を張ります。
- 棟部に棧木30×40を2ヶ所取り付け、棧木を包むように下葦材を増し張りします。
- ※工事中は片流れ用棟包みに乗らないでください。工具・部材も置かないでください。片流れ用棟包みに変形するおそれがあります。
- 棟部は図のように加工した横暖ルーフ本体を施工し、本体の図の位置にケミカル面戸15×35を貼り付け、片流れ用棟包みをかぶせます。片流れ用棟包みは、留付釘(ステンレススクリュー釘長さ32mm以上)を用いて、300mm以下の間隔で棧木に留め付けます。
- 外壁面側は化粧破風あるいはサイディングの上から、留付釘(ステンレススクリュー釘・外装材厚み+30mm以上)で455mm以下の間隔で必ず下地に留め付けます。
- けらば部は片流れ用棟包みを加工して納めます。



■施工ポイント・現場加工図

- 横暖ルーフ本体の張り終い棟部分は図のように加工してください。



- ①棟棧木面から図の寸法で切断します。
- ②棧木上端+10mmの位置まで芯材のウレタンと裏面紙を剥がしてください。
- ③端部から棧木上端の位置で折り曲げて立ち上げます。

設計
外壁リフォーム

事前調査の方法

標準施工法
外壁リフォーム

モエンサイディング
重ね張り工法

モエンサイディング
張り替え工法

センターサイディング
重ね張り工法

設計
屋根リフォーム

センタールーフ
重ね葺き工法

アルマ
重ね葺き工法

参考資料